

夫婦の情緒的サポートとその関連要因

松岡英子、○森下房枝(信州大)

【目的】有配偶女性が精神的安定を得るうえで、夫婦の情緒的なサポートは大きな影響力を持つと考えられる。本研究では、夫婦を若年・中年・高齢に区分し、各世代における夫婦の情緒的サポートに影響を及ぼしている要因を明らかにし、あわせて夫婦の情緒的サポートと妻の心的ストレス反応との関係を探ることを目的とする。

【方法】夫婦の情緒的サポートは、夫は心配事を聞いてくれる、私は心配事を聞いてあげるなど12項目を加算尺度として用いた。影響要因として、夫婦の社会的属性、夫婦関係(夫婦同伴性、夫の家事参加)、妻の価値観(妻アイデンティティ、伝統的家意識、自己優先意識)、家庭内ストレスなどを取り上げた。

【結果】各世代における夫婦の情緒的サポートの Chronbach's α は、.91 以上であり、平均得点は若年 3.1 点、中年 2.9 点、高齢 3.2 点と差異は見られなかった。夫婦の情緒的サポートへの社会的属性(12 変数)の影響を見ると、高齢の夫婦はいずれにも影響を受けていなかったが、若年及び中年の夫婦では妻の就業形態に影響を受けていた。夫婦関係については、世代に関わりなく夫の家事参加が多いほど、夫婦同伴性が高いほど夫婦の情緒的サポートが良好であることが明らかになった。妻の価値観については、若年及び中年の夫婦では妻アイデンティティが強いほど、高年夫婦では伝統的家意識が強いほど夫婦の情緒的サポート得点が高かった。各世代における、夫婦の情緒的サポートに最も強く影響を与えているのは、夫婦同伴性であった。さらに、夫婦の情緒的サポートは世代に関わりなく妻の心的ストレス反応に強い影響を及ぼしていた。